

恵那商工会議所様からの要望に対する回答

令和8年3月

恵 那 市

## 1. 地域中小企業・小規模事業者への支援策の強化と対策予算の拡充

市内の中小企業・小規模事業者においては、トランプ関税の影響による輸出額の減少に伴う元請けからの受注減などに加え、原材料費やエネルギーコストの高騰が経営を大きく圧迫しています。さらに、最低賃金の上昇が続く中、事業環境は一段と厳しさを増しております。

このような状況下において、中小企業・小規模事業者を支える商工会議所が実施する各種事業の重要性はこれまで以上に高まっています。つきましては、これら事業に対する予算の拡充および支援体制の強化を強く要望いたします。

### (1) プレミアム商品券事業の継続実施と地域経済に最適なプレミアム率の検討

#### 【商工課】

プレミアム付き商品券事業は、商工会議所の皆様をはじめ事業者の皆様による実行委員会により事業を実施していただいております。おかげをもちまして地域内消費の喚起および中小企業・小規模事業者の売上支援に一定の効果を上げてきたものと認識しております。

令和8年度におきましても、国の物価高騰対応重点支援交付金を活用し、令和7年度のプレミアム率と比較して、電子・紙それぞれ5%ずつ上乘せ、電子20%、紙15%とし、9月から利用できる事業として計画しております。恵那市商品券事業実行委員会において実施していただけるよう準備を進めてまいります。

### (2) 地域内経済を循環させるための地域通貨、行政ポイントを含めたデジタル通貨導入の検討

#### 【商工課】

地域内経済の循環促進は、本市にとって重要な課題であると認識しております。

地域通貨や行政ポイントを含めたデジタル通貨の取り組みは、地域内経済の循環に寄与する事業であると考えます。一方で、先進的に取り組んでいる自治体や団体をみると一過性で終える場合や休眠化している事例もあります。

導入につきましては、導入効果、運用コスト、事業者および利用者の利便性等を十分に検証するとともに、他自治体の事例も参考にしながら、導入の可能性について研究・検討を進めてまいります。

(3) 時代に即した事業者支援のための補助金制度の見直しと拡充

【商工課】

市内の商工業振興を促進するため、事業者の皆様が行う事業の支援として「恵那市商工業振興補助金」制度を設けております。

既存の補助金メニューにつきましては、事業者のニーズや利用状況を踏まえ、より実態に即した制度となるよう内容の見直しや拡充について検討するとともに、新たなニーズに対しては新たなメニューを創設するなど、恵那商工会議所や事業者の皆様とコミュニケーションを深めながら、より活用しやすい補助金制度となるよう努めてまいります。

(4) 中心市街地の活性化に向けた推進体制への支援

【商工課】

中心市街地の活性化は、地域経済の活力維持・向上において重要な施策であると考えており、令和8年度から始まる第3次恵那市総合計画においても空き店舗を活用した宿泊施設の整備など、重点プロジェクト事業に位置付け取り組みを進めてまいります。

令和8年度は商店街振興組合の皆様が主体となって「(仮称)恵那まちなかチャレンジ基盤づくり事業」として、空き店舗ツアー、出店希望者との交流会事業など商店街のにぎわいづくりを計画していただいています。市としてもこの取り組みを支援してまいります。

今後も商工会議所をはじめとする関係団体との連携を一層強化し、中心市街地活性化に向けた推進に引き続き取り組んでまいります。

(5) 中小企業、小規模事業者の実情に合った支援施策の実施と事業者を支援する商工会議所への安定的な補助

【商工課】

中小企業・小規模事業者の多様な実情にきめ細かく対応するうえで、商工会議所の果たす役割は極めて重要であると認識しております。今後も、事業者支援に資する施策を検討・実施するとともに、商工会議所が安定的かつ継続的に各種支援事業を実施できるよう、財政状況等を踏まえながら、必要な支援を行ってまいります。

## 2. 地域資源を活用して関連業種の知恵と工夫を集結するための事業について

リニア中央新幹線岐阜県駅、瑞浪恵那道路等の建設、交流人口増加が見込める様々な事業が新しい地域づくりの展開を可能にするまたとないチャンスが到来しています。

この地域に新たな付加価値を生む産業の育成や、すべての業界の成長ポテンシャルを最大限に引き出すための取組みとして、経済を中でまわし自立しうる仕組み作りと地域観光資源の保全と活用を要望いたします。

### (1) 市内全域の観光・飲食情報をまとめたポータルサイトの充実と周遊性の向上

#### 【観光交流課】

現在、観光協会ホームページや観光情報サイト、SNS等を活用して、市内の観光施設や飲食店等の情報発信を行っています。今後も、来訪者が必要な情報を分かりやすく取得できるよう、観光施設、飲食店、体験コンテンツなどの情報の整理・発信の充実に努めてまいります。

また、動画や地図を活用したデジタルツール等も取り入れながら、市内の観光資源を結び付けた周遊の仕組みづくりを進めることで、市内の周遊性の向上を図り、来訪者が地域の魅力を体験できる環境づくりを関係団体と連携して進めてまいります。

### (2) 瑞浪恵那道路開通に向けて武並地域の利便性向上のための基盤整備

#### 【都市整備課】

瑞浪恵那道路から武並駅へのアクセス道路を整備することにより、駅周辺における土地利用が期待されます。市としましては、道路整備による宅地開発の誘導を図り定住人口の増加や地域の活性化につながるよう、必要な道路整備を計画しているところです。

道路整備につきましては、土地利用を最大限に活用できるよう、最適な道路線形の検討に時間を要している状況ですが、地域活性化に資するよう、できる限り早期に方針を決定してまいります。

### (3) 恵那市ブランド認定事業の推進と食品以外の製品を認定する仕組みの構築

#### 【商工課】

本市におけるブランド認定事業としては、昨年からはじめた「えなブラン

ド事業」があります。この事業は「食」に焦点をあて、SDGs推進計画において食のSDGsに取り組む「恵那ふうど認証」事業者を対象とした事業です。

ご要望いただいたように、食分野で進めている「恵那ふうど」に加え、非食分野の魅力発信を図ることは、地域産業の振興にとって重要であると認識しております。一方、分野拡大には新たな基準づくりや体制整備が不可欠であり、現行の枠組みをそのまま広げるだけでは十分に機能しないと考えます。そのため、商工会議所をはじめ関係団体や事業者の皆様が主体となって議論を深めていただけるよう、本市としても連携しながら必要な環境整備に努めてまいります。

### 3. 地域企業の人材確保、定着の促進への支援

恵那市における人口減少と高齢化は深刻な課題であり、地域を守る取組みとさらなる移住定住施策の強力な推進が必要となります。また近年増加する外国籍労働者も地域の大事な人材であると考え、その暮らしに配慮した施策を要望します。

#### (1) 事業者が生産性向上を目指すために専門人材の副業活用を行うための補助支援

##### 【商工課】

副業・兼業による専門人材の活用は、地域企業の生産性向上や人手不足への対応に有効な手段であると認識しております。本市といたしましては、国・県制度や他自治体の取組、事業効果および財政状況を踏まえながら、商工会議所等関係機関と連携し、補助制度の導入も含めた支援の在り方について検討してまいります。

また、外国籍労働者を含む多様な人材が安心して働き、定着できるよう、就労および生活環境の整備についても、関係部局と連携しながら取り組んでまいります。

今後も、地域企業の実情に即した支援が行えるよう、商工会議所との連携を一層強化し、人材確保と定着の促進に努めてまいります。

(2) 人材不足で困っている事業所が移住・定住者を雇用した時の補助支援

【移住定住推進室・商工課】

就業要件のある移住者支援としては、県外から移住した若者が市内事業所に就職した場合の「恵那市清流の国ぎふ移住支援金事業」と、東京圏から移住し「ジンサポ！ぎふ」登録企業に就職した場合の「東京圏からの移住支援金制度」があり、移住者の市内事業所への就職を促進しています。

今後こういった補助金制度を紹介し、移住定住推進及び市内企業への就職を促進していきます。

(3) 外国籍労働者（市民）向けの行政サービスの拡充

【交流連携課】

行政情報関連では、市ウェブサイトは google 翻訳を利用し、対応言語を 9 カ国語に増やし、ベトナム語も選択できます。また、スマートフォンで広報えなの表紙の二次元コードを読み取ることで、お知らせ欄を中心に 15 の言語で読めるようにしました。また、ごみカレンダーは、英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語版を用意しています。

日本語能力の向上支援については、恵那市国際交流協会が、恵那にほんご教室を隔週日曜日に開催しています。昨年度は、計 36 回開催しました。

医療関係については、通訳等の対応可能な指定医療機関として、市立恵那病院が、厚生労働省の「外国人患者を受け入れる医療機関の情報を取りまとめたリスト」に掲載されています。

#### 4. インフラ整備・安全対策・地域振興について

市民の生命と財産を守り、安心して便利に暮らせるまちづくりを進めるため、道路整備と安全対策の充実を要望いたします。老朽化した幹線道路や生活道路の修繕に加え、観光都市として、歩行者や自転車の安全確保のための歩道整備や街路灯の増設、交通渋滞の緩和、主要都市へのアクセス改善も求められます。これにより、交流人口の増加を促し、地域活性化に貢献できるよう支援体制の強化を要望いたします。

(1) 多目的に利用ができ、収容力のあるコンベンション施設の建設、既存の公共施設で飲食を伴う会議ができるような仕組みづくり

【企画課】

市内では、かつて恵那峡に立地するホテルなどを活用して市内外からのお客様と飲食を伴う会合が来ていましたが、現在はこうした収容力のある施設が官民間問わず存在しない状況であります。

令和8年度にリニア中央新幹線開業を見据えた新たな交流人口獲得の拠点づくりに向け、岐阜県などと協議を進め、リニア岐阜県駅から近い恵那峡に立地するシアター恵那の活用方法を検討していく中で、ニーズに合った土地活用や事業を模索していきます。

(2) スマートインター利用者向けに恵那市の特産品が販売できる施設の設置

【商工課】

スマートインターチェンジは、交流人口の拡大や地域経済の活性化に資する重要な交通拠点であると認識しております。スマートインター利用者を対象とした特産品販売施設の設置につきましては、地域の魅力発信や観光消費の拡大につながる取組であることから、運営主体、事業効果等を踏まえ、関係機関と連携しながら施設の可能性について検討してまいります。

今後も、交通インフラを活かした地域振興に取り組み、交流人口の増加と地域産業の活性化につながる施策を推進してまいります。

(3) 瑞浪恵那道路の開通に伴う、道の駅の早期整備

【都市整備課】

道の駅の検討にあたっては、整備面積や事業採算性など多面的な観点から慎重に検討を進めています。

地元地域からも、道の駅整備の要望をいただいています。市としても、その期待を重く受け止めており、考えられる候補地での可能性を、瑞浪恵那道路の整備を進める国などの関係機関との協議を進めながら、整備実現の可否を見極めていく方針です。これらの検討を踏まえ、整備予定地の確定および道の駅整備に前向きに取り組んでまいります。

(4) 市内周辺部における防犯対策の強化（防犯カメラの設置、街灯の増設）

【危機管理課】

市では現在、小中学校をはじめ、医療施設、公園、振興事務所などに防犯

カメラを設置しています。現時点では、市全体を対象とした推進計画や増設予定はありませんが、設置にあたっては、犯罪抑止効果とプライバシー保護の両立を重視し、設置箇所の選定を慎重に行う必要があると考えております。

現在は防犯カメラによる対策に加え、市・学校・警察が地域住民の皆様と連携し、防犯パトロールや注意喚起など、多角的な防犯対策を推進しております。

また、自治会や商店街等が自主的に防犯設備を設置する場合には、「恵那市防犯設備整備補助金」および「恵那市 LED 防犯灯設置補助金」による支援を行っています。近年の治安情勢を踏まえ、地域からの要望や相談も増える傾向にあることから、今後も地域と連携し、安全・安心なまちづくりに努めてまいります。

#### 【継続要望】

- (1) 恵那市街地からリニア岐阜県駅へのアクセス向上のため東濃東部都市間連絡道路などの広域的な道路の整備促進

#### 【都市整備課】

東濃東部都市間連絡道路は、恵那市中心部からリニア岐阜県駅を經由し中津川市中心部を結ぶ路線であり、リニア岐阜県駅が開業した際、恵那市方面から同駅へ向かう主要なアクセスルートとして、極めて重要な役割を担う路線です。加えて、恵那峡 SA スマート IC の開通や、市において取り組んでいる主要道路の整備などにより、地域交通ネットワークの拡充が進むことで、当該路線に対する交通需要は一層高まるものと見込まれています。市としても、広域的な交通基盤の確保と地域活性化の観点から、同路線を重要なインフラとして位置づけています。

市は、県や中津川市に加え、リニア中央新幹線や在来線との関係から JR 東海とも必要な調整を行いながら、関係機関との協調体制の確立に努めているところです。本路線は、いずれの関係者も連携して進めなければ前へ進めない事業であり、時間を要することが想定されるものの、恵那市の将来にとって極めて重要な課題であると認識しています。

市としましては、引き続き各関係機関との協議・調整を粘り強く進め、整備に向けた環境づくりを継続することで、できる限り早期に事業が前進するよう取り組んでまいります。

- (2) 付替え国道418号整備に続く、県道恵那八百津線の整備促進と国道418号藤地区の未改良区間の整備促進

【建設課】

県道恵那八百津線、国道418号の藤地区未改良区間の事業化は、リニア中央新幹線の岐阜県駅の県内における広域的な波及効果を高めるためのアクセス道路としても重要な道路であり、地域の更なる飛躍と地域住民の利便性及び安心安全の向上のために早期整備を協議会等で国及び岐阜県に対し要望を行っています。令和8年度も引き続き強く要望してまいります。

なお、各路線の進捗状況は次の通りです。

- ・ 県道恵那八百津線については五明から烏帽子岩までの区間において県により事業化に向けた調査が進められています。
- ・ 国道418号は、名場居川に架かる橋長約500mの(仮称)7号橋の整備が恵那市、八百津町、それぞれの方向から工事が進められています。
- ・ 藤地区の武並橋を含む未改良区間の改良については、現在具体的な動きはありませんが、岐阜県に対し早期事業化を要望しています。

- (3) 市内全域に企業等が利用する高速通信回線が使用できるように電気通信事業者への働きかけ

【情報政策課】

要望のあった事業所様とは個別に相談させていただき、必要な環境を整備するよう通信接続の入口整備を進めているところです。また、電気通信事業者への要望についても、不採算エリアの通信環境整備は厳しい状況ですが、都度行ってまいります。